

# 令和6年度 三重県道路交通渋滞対策推進協議会 概要と意見

令和6年度 三重県道路交通渋滞対策推進協議会について、本協議会を開催した結果を、以下のとおり報告する。  
令和6年9月12日  
三重県道路交通渋滞対策推進協議会

## ■委員名簿

所 属	役 職
中部地方整備局	三重河川国道事務所長（会長）
中部地方整備局	紀勢国道事務所長
中部地方整備局	北勢国道事務所長 （WEB代理出席：北勢国道事務所 副所長）
中部地方整備局	道路部 道路計画課長 （WEB代理出席：道路計画課 課長補佐）
中部地方整備局	道路部 地域道路課長 （WEB代理出席：地域道路課 係長）
中部地方整備局	道路部 交通対策課長（WEB出席）
中部地方整備局	建政部 都市整備課長 （WEB代理出席：都市整備課 課長補佐）
中部運輸局 三重運輸支局	首席運輸企画専門官（企画調整担当）
中部運輸局 三重運輸支局	首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）
三重県 県土整備部	道路企画課長（WEB出席）
三重県 県土整備部	道路建設課長
三重県 県土整備部	道路管理課長
三重県 県土整備部	都市政策課長（WEB出席）
三重県 地域連携・交通部	交通政策課長 （代理出席：交通政策課 主任）
三重県 環境生活部	大気・水環境課長
中日本高速道路(株) 名古屋支社	総務企画部 企画調整課長（WEB出席）
中日本高速道路(株) 名古屋支社	保全・サービス事業部 交通技術課長
三重県警察本部 交通部	首席参事官・交通企画課長 （代理出席：交通企画課 交通安全対策室長）
三重県警察本部 交通部	参事官・交通規制課長 （代理出席：交通規制課 交通管制官）
三重県トラック協会	専務理事 （代理出席：業務部 業務部長）
三重県バス協会	専務理事
三重県タクシー協会	専務理事（欠席）

## ■ 議事概要、意見と回答

### 1. 規約改正

規約改正内容について報告し、承認された。

### 2. これまでの取組経緯と会議の論点

特に意見なし

### 3. 基本方針の策定

特に意見なし

### 4. 2023年度に実施した渋滞対策

特に意見なし

### 5. 2024年度以降に実施する予定の渋滞対策

(意見) 松阪市内において中心市街地への流入抑制を図ることを目的とし、TDM社会実験を実施予定である。この施策を理解してもらい、ドライバーに行動を変えていただく必要があることから、TDM施策による社会実験は広報が重要と考えている。松阪ICから流入する交通もあるため、中日本高速道路(株)にも協力いただき、チラシの配布を行う等、広報を充実して進めたい。

効果的なTDMとするためには、松阪多気BP朝田町南交差点の混雑が課題であるため、立体化事業に引き続き協力願いたい。

(意見) 2024年問題や働き方改革により渋滞における業務損失はプロドライバーの働きやすさに大きな影響を与える。ソフト・ハード対策による渋滞緩和の意義は大きい。公共交通機関に関して言えば、外出促進による利用機会増加によって持続可能性を高める観点が重視される。一定程度の利用者数がないと公共交通機関が維持できないため、学生、高齢者、観光客等の自動車での移動が難しい人の移動手段確保のためにも、公共交通機関の利用促進を図りたい。

(意見) 三重県の管理道路のうち、21箇所が対策未検討である。対策未検討箇所には踏切箇所も含まれており抜本的な対策には時間がかかる箇所もあるが、対策検討が必要という点は理解している。(主)鳥羽松阪線の伊勢市内には度会橋西詰交差点、掛橋交差点、宮前交差点と主要渋滞箇所が3箇所あるため、道路利用者の要望もふまえ、伊勢市と協議しながら対策検討を進めたい。

(意見) 本日紹介の事業も含め、県事業をしっかりと進めてまいりたい。

(意見) 三重大学前における信号現示変更の実証実験を終えて課題が明らかになった。今後、国土交通省、三重大学と連携して対策検討を進めたい。また、大谷踏切の開通影響も同様に検討を進めたい。

(意見) 渋滞箇所が少しでも削減されると労働時間の短縮につながるため、引き続き対策をお願いしたい。

(意見) バスを利用していただくことを目的に松阪市においてバス無料デーに協力した。度会橋西詰交差点の対策検討は引き続きお願いしたい。中勢バイパスは津市内は渋滞しているが、昨年度に開通した鈴鹿(安塚)工区はスムーズと感じた。開通情報が広域に認知されていない可能性がある。積極的に周知することで中勢バイパスの利用が促進されると渋滞が緩和されるのではないかと。

### 6. 主要渋滞箇所モニタリング

特に意見なし

## ■ 結論

議事に対して、各委員から了承が得られた。